



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

## 聖書は敬虔についてどう語っているか?— パート2 ・ ストロングナンバー付き欽定訳聖句

PART 2 ・ 聖書の基礎的教理に基づく新しい研究

敬虔 — 聖書の基礎教理

### 開会の言葉

敬虔は大いなる利益であり、そのための力は既に与えられている。それが私たちの前に置かれた基礎であり、今、私たちはさらに進み、同じ真理についての新たな証人たちを見ていく。ギリシア語の言葉はエウセベシア(G2150、敬虔)であり、これは敬愛を意味する——まことに神を喜ばせる生活のことである。そしてエウセベス(G2153、敬虔な)は、それが生きられる様——敬虔に生きることを意味する。よくこれを心に留めよ。敬虔とは、他の人々に見せるために身につけた外面の形ではない。なぜなら、人はその力を否みながらもその形を保つことができるからである。それはある奥義に根ざしている。神が人の肉において来られたのである。そして神が来られたゆえに、人は御前を歩み、神を喜ばせることができる。敬虔には教えがあり、それは追い求められなければならない、満足と共にあるとき大いなる利益となる。そして敬虔に生きようとするすべての者は苦しみを受けるが、主は敬虔な者をいかに救い出すべきかを知っておられる。この歩みは古くからのものである。ある人が神と共に歩み、神は彼を取られた。その終わりは栄光であり、敬虔な者たちが待ち望む日である。それゆえ、いかに歩むかに注意せよ。これを探り究めよ。

### 本研究が答える三つの問い:

1. 敬虔はどこから始まるのか、またその奥義は何か。
2. 敬虔はどのように追い求められるのか、そしてそこから人は何をを得るのか。
3. 敬虔に生きようとする者たちはどのような苦しみを受けるのか、また敬虔な者たちは何を待ち望むのか。

### 既に据えられた基礎——敬虔

土台 → 神の神能は、生命と敬虔とに関するすべての事を我らに賜へり(ペテロ後書1:3)。

土台 → 忍耐に敬虔を加え、敬虔に兄弟愛を加えよ(ペテロの手紙第二 1:6-7)。

土台 → あなたがたの召しと選びを確かにするように、ますます励みなさい(ペテロ後書1:10)。

THE FOUNDATION → かえって自らを敬虔のために鍛えよ + 敬虔はすべてのことに益がある(1 TIMOTHY 4:7-8)。

土台 → 敬虔の奥義は大いなるかな = 神は肉において現れ給えり(テモテ第一3:16)。

基盤 → 満足を伴う敬虔は大きな利益である(テモテ前書6:6)。

THE FOUNDATION → 慎み深く、正しく、敬虔に生きる + かの祝福された望みを待ち望む(テトス2:12-13)。

パート2は、新たな一連の証人たちによって同じ真理を確認します。

## ギリシャ語キーワード

“敬虔” — **G2150 eusebeia** — 敬虔、敬神  
命と敬虔にかかわるすべてのもの

“敬虔な” — **G2153 eusebos** — 敬虔に、神を敬って  
キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はすべて

“敬虔” — **G2317 theosebeia** — 神への敬虔さ、信心  
善行を伴う敬虔を公言する女性たち

“神秘” — **G3466 musterion** — 秘密、奥義  
敬虔の奥義は大いなるかな

“利益” — **G4200 porismos** — furnishing、金儲け、利得  
満足を伴う敬虔は大きな利益である

“満足” — **G841 autarkeia** — 充足、足ることを知ること  
満足を伴う敬虔は大きな利益である

(私見であるが、これらの言葉に注目してほしい。互いに深く関連していながら、同一ではないからである。eusebeia(G2150、敬虔)とは敬虔そのもの、その事柄自体を指し、eusebos(G2153、敬虔な)とは生き方そのもの——敬虔に「生きる」ことを指す。人はその第一の言葉を口にしながら、決して第二を行わないこともあり得る。そして、書の中でただ一度だけ現れる言葉がある。theosebeia(G2317、敬虔)——神を畏れ敬い、神を礼拝する者としての在り方であり、他の人々にではなく神に目を向ける敬虔である。生きることそのものが問われる場面では、神は常に行為を表す言葉をお選びになった。この選び自体が、私たちに何かを教えているのである。)

## ヘブライ語キーワード

“敬虔な” — **H2623 chaciyd** — 敬虔な、信心深い、聖徒  
主は敬虔な者をご自分のために選び分けられた

“完全な” — **H8549 tamiym** — 完全な、全体の、傷のない、正しい  
わたしの前に歩み、全き者であれ

(私の個人的な所感——ストロングによれば、chaciyd(H2623、敬虔な)は本来、親切な、敬虔な——聖徒を意味し、chesed(H2617、憐れみ)と密接に関連している。旧約における敬虔な人とは憐れみの人であり、主は彼を御自身のために選び分けられた。そしてtamiym(H8549、全き)は完全な、欠けのない、傷のないことを意味し——これはささげ物に求められたのと同じ言葉である。神がアブラムに求められた歩みは全き歩みであり、何も欠けることなく、何も出し惜しむことのないものであった。)

## OPENING ANCHOR(冒頭のアンカー)

テモテへの第一の手紙 3:16 確かに偉大なのは、この信心の奥義である、「キリストは肉において現れ、霊において義とせられ、御使たちに見られ、諸国民の間に伝えられ、世界の中で信じられ、栄光のうちに天に上げられた」。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G3466 musterion ・ ■ G2150 eusebeia

敬虔の奥義は偉大である。すなわち、神は肉において現れ給えり。

(私自身の思い——敬虔には根がある。その根は規則ではなく、一人の人格である。ミステリオン(G3466、奥義)とは秘密であり、神が明らかにされるまで沈黙のうちに保たれてきたものである。そして今、その秘密ははっきりと語られた。神は人の肉に

おいて現された。エウセベシア(G2150、敬虔)はここから始まる。誰も自分自身の善によって神へと登って行くのではない。神が人々のもとへと降りて来られたのであり、敬虔とは、その神に応答する生き方である。)

## 敬虔にかなう教理

**A. ペテロの第二の手紙 1:3** いのちと 信心 とにかかわるすべてのことは、主 イエスの 神聖 な力によって、わたしたちに与えられている。それは、ご自身の 栄光 と 徳 とによって、わたしたちを 召されたかたを知る知識によるのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia

**神の御力は、生命と敬虔とに関するすべての事を、我らに賜へり、これ神を知る知識によりてなり。**

(私の個人的な考え——与えられたことに注目してほしい。すでに与えられた、である。これから与えられる、ではない。力は彼のものであり、その与えることはすでに成し遂げられている。命と敬虔に関わるすべてのものは、彼を知ることによって与えられる。彼を知るに至った者で、敬虔に生きる力を欠いている者は誰もいない。)

**B. テモテへの第一の手紙 6:3** もし違ったことを教えて、わたしたちの主 イエス・キリストの 健全 な言葉、ならびに 信心 にかなう 教 に同意しないような者があれば、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia

**健全な言葉=我らの主イエス・キリストの言葉+敬虔にかなう教え。**

(私個人の思い——敬虔には教えがあり、その教えには言葉がある——健全な言葉、すなわち私たちの主イエス・キリストの御言葉そのものである。異なる何かを教えるならば、教えられているものは敬虔ではない。教えと生活は共に立ち、あるいは共に倒れる。)

## II. 昔の証人 — 我が前に歩み、全かれ

**A. 創世記 5:24** エノクは神とともに歩み、神が彼を取られたので、いなくなった。

**エノクは神とともに歩み→いなくなった。**

**B. ヘブル人への手紙 11:5** 信仰によって、エノクは死を見ないように天に移された。神がお移しになったので、彼は見えなくなった。彼が移される前に、神に喜ばれた者と、あかしされていたからである。

**彼は移された前に、神に喜ばれたという証をおとりしました。**

(私自身の思い——この二つを並べてみよう。モーセはエノクが神とともに歩んだと言う。手紙はその歩みが何であったかを語る——彼は神を喜ばせた、と。ここに、一人の人の生涯における敬虔(ユセベシア、G2150 eusebeia)の全体がある。すなわち、神とともに歩むこと、そして神を喜ばせることである。そして、その歩みの終わりに注目せよ。神が彼を取られたのである。)

**C. 創世記 17:1** アブラムの九十九歳の時、主はアブラムに現れて言われた、「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前に歩み、全き者であれ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8549 tamiym

**私は全能の神である+私の前を歩み、全き者となれ。**

**D. 詩篇 4:3** しかしあなたがたは知るがよい、主は神を敬う人をご自分のために聖別されたことを。主はわたしが呼ばれる時におききくださる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2623 chaciyd

**主は己のために敬虔な者を選び分かれた。主は聞かれる。**

(私自身の思い——タミーム(H8549、完全な)とは、完全であること、全きことを意味する——主の御前を全く歩むこと。そしてハシード(H2623、聖徒、敬虔な者)——主はご自分のために敬虔な人を分け隔てて置き、彼が呼び求めるとき彼に耳を傾けられる。敬虔な歩みは何も新しいものではない。それは初めから存在していたのである。)

## III. これらを避けて、敬虔を追い求めよ

**A. テモテへの第一の手紙 6:11** しかし、神の人よ。あなたはこれらの事を避けなさい。そして、義と信心と信仰と愛と忍耐と柔和とを追い求めなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia

**これらのことを避けなさい。そして義、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。**

**B. テモテへの第一の手紙 6:12** 信仰の戦いをりっぱに戦いぬいて、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたは、そのために召され、多くの証人の前で、りっぱなあかしをしたのである。

**信仰の戦いを立派に戦い抜き、永遠の命を捕らえよ。**

(私自身の思い——一人の人の中にある二つの動き:逃れよ、そして追い求めよ。ユーセベイア(G2150、敬虔)は追い求めるべき六つの事柄の中にある——それは待つものではなく、追い求めるものである。そしてその追求は戦いである——信仰の善き戦いである——そしてその戦いの目的は、永遠のいのちを捉えることである。)

#### IV. 大いなる利益 — 満足を伴う敬虔

**A. テモテへの第一の手紙 6:5** また知性が腐って、真理にそむき、信心を利得と心得る者どもの間に、はてしのないいがみ合いが起るのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4200 porismos ・ ■ G2150 eusebeia

**信心を利得と心得る者どもの間に→はてしのないいがみ合いが起るのである。**

**B. テモテへの第一の手紙 6:6** しかし、信心があって足ることを知るのは、大きな利得である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia ・ ■ G841 autarkeia ・ ■ G4200 porismos

**満足を伴う敬虔は大いなる利益である。**

(私自身の思い——この二つの聖句を並べて置き、その転換に注目してほしい。心の腐った人々は、利得が敬虔であると言う——敬虔を金を得るための手段として用いるのである。なぜなら、porismos(G4200、利得)とは、利益の源、金儲けの手段を意味するからである。この言葉はそれを逆転させる。敬虔こそ、満足を伴う大きな利得なのである。autarkeia(G841、満足)とは、十分であること、満ち足りていることを意味する。敬虔を持ち、それに衣食が伴う者は、あらゆる財産を持ちながら神を持たない者よりも、多くを持っているのである。)

#### V. 警告 — 敬虔の形と、世の憂い

**A. テモテへの第二の手紙 3:5** 信心深い様子をしながらその実を捨てる者となるであろう。こうした人々を避けなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia

**敬虔の形を保ちながら、その力を否定する者たち→そのような人々から離れなさい。**

**B. コリント人への第二の手紙 7:10** 神のみこころに添うた悲しみは、悔いのない救を得させる悔改めに導き、この世の悲しみは死をきたらせる。

**神のみこころに添うた悲しみは+この世の悲しみは死をきたらせる。**

(私の個人的な思い——力を否定したまま、形だけを保つことができる。すなわち、いのちのない敬虔のふりである。命じられているのは、そのような人々を正すことではなく、離れ去ることである。そして二種類の悲しみも同じことを教えている。二つのものが似ていながら、正反対の結末に至ることがある。神に従う悲しみは、救いに至る悔い改めを生じ、世の悲しみは死を生じる。それらが何を生み出すかによって、見分けなさい。)

#### VI. 敬虔に生きようと願う者はみな苦しみを受ける — そして主は敬虔な者を救い出される

**A. テモテへの第二の手紙 3:12** いったい、キリスト・イエスにあって信心深く生きようとする者は、みな、迫害を受ける。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2153 eusebos

**キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けるであろう。**

**B. ペテロの第二の手紙 2:9** こういうわけで、主は、信心深い者を試練の中から救い出し、また、不義な者ども、

**主は敬虔な者を試みより救い出す道を知りたまう。**

(私個人の考えー彼は敬虔に生きる者たちのうちの「ある者」とは言っていないー「すべて」と言っているのだ。エウセボス(G2153、敬虔な)とは生き方そのものであり、世はその生き方を憎む。しかし、第二の証しを第一の証しと並べて見よ。主は敬虔な者を試練から救い出す方法を知っておられる。苦難は確実であり、救出もまた確実である。その両方を頼みとし、恐れてはならない。)

#### VII. 望み — 神の日の来臨を待ち望む

**A. ペテロの第二の手紙 3:11** このように、これらはみなくずれ落ちていくものであるから、神の日の到来を熱心に待ち望んでいるあなたがたは、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2150 eusebeia

**これらすべてのものが崩れ去るのであれば、あなたがたはすべての聖なる行状と敬虔をもって、どのような人であるべきか。**



**B. ペテロの第二の手紙 3:12** 極力、きよく 信心 深い 行いをしていなければならない。その日には、天は燃えくずれ、天体は焼くぜうせしてしまう。

**極力、きよく 信心 深い 行いをしていなければならない。**

(私個人の思い——これらすべてのものは溶け去るのだから、何が残るのか。それは、聖い行いと敬虔である。敬虔な人は、すべてが溶け去る場所に自分の宝を積むことはせず、神の日を待ち望み、それに向かって急ぐのである。)

## 二人の口

**テモテへの第一の手紙 3:16** 確かに偉大なのは、この信心の奥義である、「キリストは肉において現れ、霊において義とせられ、御使たちに見られ、諸国民の間に伝えられ、世界の中で信じられ、栄光のうちに天に上げられた」。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G3466 musterion ・ ■ G2150 eusebeia

**神は肉において現れた。**

**ヨハネによる福音書 1:14** そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。わたしたちはその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であって、めぐみとまことに満ちていた。

**そして言は肉体となり+わたしたちのうちに宿った+わたしたちはその栄光を見た。**

**ヨハネの第一の手紙 4:2** あなたがたは、こうして神の霊を知るのである。すなわち、イエス・キリストが肉体をとってこられたことを告白する霊は、すべて神から出ているものであり、

**イエス・キリストが肉体をもって来られたことを言い表す霊はすべて神から出たものである。**

**伝道の書 4:12** 人がもし、そのひとりを攻め撃ったなら、ふたりで、それに当るであろう。三つよりの綱はたやすくは切れない。

**二人は彼に立ち向かうことができる。三つ撚りの糸はたやすくは切れない。**

(私自身の思い——この三つを並べてみよう。パウロは、神が肉においてあらわされたと言い、ヨハネは、言葉は肉体となり、私たちの間に住まわれたと言い、そしてヨハネは再び、イエス・キリストが肉体において来られたことを告白するすべての霊は神からのものであると言う。三つの言葉、一つの奥義——神は肉体をとって来られた。あなたが私のために備えてくださった体である。これはすべての敬虔の基礎であり、すべての霊を試す試みである。これによって、あなたは神の霊を知るのである。二人または三人の証人の口によって、すべての言葉は確立され、三つよりの綱はたやすくは切れない。)

## 影と実現

**Shadow イザヤ書 7:14** それゆえ、主はみずから一つのしるしをあなたがたに与えられる。見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。

**それゆえ、主はみずから一つのしるしをあなたがたに与えられる → 見よ、おとめがみごもって男の子を産む+その名はインマヌエルとなえられる。**

**Fulfillment マタイによる福音書 1:23** 「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう」。これは、「神われらと共にいます」という意味である。

**彼らはその名をエマヌエルと呼ぶ、すなわち神われらと共にいます、という意味である。**

(私個人の思感——イザヤはしるしを与えた。処女の子、その名はインマヌエル。マタイは、主が預言者を通して語られたことが成就するためであったと言い——その名を解き明かす。神われらと共にいます、と。パウロも同じ証しを与える。神は人の肉において顕された——大いなるかな、敬虔の奥義。奥義は名において約束され、一人の人格において実行された。)

## 閉会

**ペテロの第二の手紙 3:13** しかし、わたしたちは、神の約束に従って、義の住む新しい天と新しい地とを待ち望んでいる。

**約束に従って → 私たちは新しい天と新しい地を待ち望んでいる。そこには義が住んでいる。**

**テモテへの第一の手紙 3:16** 確かに偉大なのは、この信心の奥義である、「キリストは肉において現れ、霊において義とせられ、御使たちに見られ、諸国民の間に伝えられ、世界の中で信じられ、栄光のうちに天に上げられた」。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G3466 musterion ・ ■ G2150 eusebeia

**敬虔の奥義は大いなり——栄光のうちに上げられ給えり。**

(私の個人的な思い——ここに事の全体の結論がある。敬虔は奥義の内に始まる——神は人の肉において顕された——そしてそれに属するすべてのものは、彼を知ることを通して、すでに与えられている。それには教えがあり、それはまさに私たちの主イエス・キリストの御言葉である。それは追い求められ、戦い取られねばならない。満ち足りる心と共に、それは大いなる利得であり、敬虔の形だけあって力のないものは無に等しい。敬虔に生きようとする者は苦しみを受けるが、主は彼らを救い出す術を知っておられる。その歩みは古くから続くもの——エノクは神と共に歩み、神を喜ばせ、神は彼を取られた。そしてその終わりは栄光である——人の肉において顕された方は栄光のうちに上げられ、敬虔な者たちはその日を待ち望み、また義の宿る新しい天と新しい地とを待ち望む。)

## 練習クイズ

**1. テモテへの前の書 3章16節 — 確かに偉大なのは、この信心の奥義である、「キリストは:**

- a) 御使いたちに見られ
- 肉において現れ
- c) 栄光のうちに上げられた

**2. ペテロの第二 1:3 — 神の 神聖な 力によって、わたしたちにあらゆることが与えられているのは、それがかわるところの:**

- いのちと信心
- b) 栄光と徳
- 来たるべき世

**3. テモテ第一 6:6 — しかし、信心があって足ることを知るのは:**

- a) すべてのことに益がある
- b) 命の冠
- 大きな利得

**4. テモテ後書3:5 — 信心深い様子をしながらその実を捨てる者となるであろう。否むのは:**

- a) 彼らを買収された主
- b) その実
- c) 一度伝えられた信仰

**5. 2コリント7:10 — 神のみこころに添うた悲しみは、次のようにする:**

- a) 忍耐
- 死
- 救に至る悔改め

**6. 創世記17:1 — わたしは全能の神である。あなたはわたしの前に歩み、者であれ:**

- a) 全き者
- b) 廉直な
- c) 聖なる

**7. ヘブル人への手紙11:5 — 彼が移される前に、彼は次のようにあかしされていた。すなわち、彼は:**

- a) 神とともに歩んだ
- 神に喜ばれた
- c) 神を恐れた

**解答:1-b、2-a、3-c、4-b、5-c、6-a、7-b**

## このスタディの分岐

奥義には対をなすものがある。すなわち、敬虔の奥義は大いなり(テモテ前書3:16)、また不法の奥義はすでに働けり(テサロニケ後書2:7)——一つは他の一つに対して立てられ、おのの独自の研究に備えている。

→言葉には意味がある:テモテへの手紙— 2:10における「敬虔」という言葉はテオセベイア(G2317、敬虔)である——神を畏れる者、神を礼拝する者——そしてそれはただ一度だけ用いられている。どの言葉がどこに置かれているか、そしてなぜであるかに注目せよ。

心をこれに向ける方法:敬虔は第二ペテロ1:5-7の梯子の中に位置している——忍耐に敬虔を加え、敬虔に兄弟愛を加えよ——その梯子のあらゆる段はこの一段に寄りかかっている。

この訓練がどのように益をもたらすか:むしろ自らを敬虔のために訓練せよ(テモテ前書4:7-8)—肉体の訓練はいくらか益があるが、敬虔はすべてのことに益があり、今の命と、また来たるべき命との約束を持っている。

それが永遠にまで及ぶことについて——かくて我らの主なる救主イエス・キリストの永遠の御国に入る門は、豊かに汝らに開かれん(ペテロ後書1:11)——また敬虔なる者は、義の宿る新しき天と新しき地とを待ち望む(ペテロ後書3:13)。

## SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE\_LEGAL\_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM\_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).